

10/19/62

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

01832453 \*\*Image available\*\*

REGISTERING AND CERTIFICATING SYSTEM OF SEAL IMPRESSION

PUB. NO.: 61-046553 [JP 61046553 A]  
PUBLISHED: March 06, 1986 (19860306)  
INVENTOR(s): HAYASHI TSUTOMU  
APPLICANT(s): NEC CORP [000423] (A Japanese Company or Corporation), JP  
(Japan)  
APPL. NO.: 59-167495 [JP 84167495]  
FILED: August 10, 1984 (19840810)  
INTL CLASS: [4] G06F-015/20  
JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications);  
44.7  
(COMMUNICATION -- Facsimile)  
JAPIO KEYWORD: R107 (INFORMATION PROCESSING -- OCR & OMR Optical  
Readers)  
JOURNAL: Section: P, Section No. 478, Vol. 10, No. 206, Pg. 59,  
July  
18, 1986 (19860718)

ABSTRACT

PURPOSE: To input directly already existing original cards of  
seal  
impression registration by using a facsimile device as a seal  
impression  
input/output device.

CONSTITUTION: In case of registration of a seal impression, a  
resident  
enters required items on an application form and presents it. A  
public  
servant at the window inputs retrieval information from an  
information  
input part 3, and a processing part retrieves a resident record data  
base  
in a file 7 through a terminal control part 5, and the processing  
part 6  
outputs pertinent resident information to an information output part 2  
in a  
form of the original card of seal impression registration if  
this  
information is found. When the resident seals this original card and  
the  
original card is inputted to a seal impression reading part 1,  
redundant  
information of the seal impression is compressed in a facsimile  
control  
part 4 by the MH encoding system, and a register number  
corresponding to  
the seal impression is added by keys in the information input part 3,  
and  
the seal impression is supplied to the terminal control part 5. The  
control

DB  
2082

part 5 transfers the seal impression to the processing part 6 in online.

The processing part 6 relates transmitted seal impression and register

number to each other and stores them as an image data base in the file 7.

Simultaneously, a seal impression registration card is issued from a seal

impression registration card issuing part 8.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-46553

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)3月6日

G 06 F 15/20

Z-6619-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 印鑑登録証明システム

⑯ 特 願 昭59-167495

⑰ 出 願 昭59(1984)8月10日

⑱ 発 明 者 林 力 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

Best Available Copy

明 細 書

1. 発明の名称

印鑑登録証明システム

2. 特許請求の範囲

印鑑登録申請書の住民情報を入力し、住民記録データベースと照合を行い、該当する住民情報を検索し、検索した情報を予め定められた印鑑登録原票としてファクシミリ受信機に出力する手段と、

前記印鑑登録原票に押印された印影または既存様式用の紙に押印された印影をファクシミリ送信機より脱取り、イメージデータベースに格納し印鑑登録番号を記録した印鑑登録カードを出力する手段と、

前記印鑑登録カードの情報の少なくとも登録番号データを入力することにより、ファクシミリ受信機に印鑑登録証明書を出力する手段とを含むことを特徴とする印鑑登録証明システム。

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明は印鑑登録証明システムに関し、特に印影の登録、印鑑登録証明書の発行にファクシミリ装置を用いるシステムに関する。

(従来技術)

従来この種のシステムに対する入力装置は光学文字読取装置(以下OCRと略す)が用いられている。(特願昭56-35036"印鑑登録証明システム")。

そのため既存の印鑑登録原票を用いコンピュータに登録する場合はこの印鑑登録原票がそのままの形態でOCRの入力帳票として使用出来ないため、一度OCRが読取れる用紙に印鑑登録原票を貼りつけるか、または新たにOCR用紙に印影を再押印し入力する方法を取っている。この方法では数万から数十万件保有する印鑑登録原票を入力するには切替え作業に多大な労力を必要とする欠点がある。

また、新たに印鑑登録をする場合でも、印鑑登

DB  
1982

録原票がOCR用紙となるため紙質・色・規格等の制限、印鑑登録番号等OCR手書き文字を帯くための文字枠・活字体の制限があり、読取り精度も原稿移動形となるため不安定であるという欠点がある。

#### ( 発明の目的 )

本発明の目的はファクシミリ装置を印影入出力装置として用いることにより既存印鑑登録原票の直接入力を可能とした印鑑登録証明システムを提供することにある。

#### ( 発明の構成 )

本発明の装置は印鑑登録申請書の住民情報を入力し、住民記録データベースと照合を行い、該当する住民情報を検索し、検索した情報を予め定められた印鑑登録原票としてファクシミリ受信機に出力する手段と、前記印鑑登録原票に押印された印影または既存様式の用紙に押印された印影をファクシミリ送信機より読取り、イメージデータベースに格納し印鑑登録番号を記録した印鑑登録カードを出力する手段と、前記印鑑登録カードの情報の少

なくとも登録番号データを入力することにより、ファクシミリ受信機に印鑑登録証明書を出力する手段とを含んで構成される。

#### ( 実施例 )

以下本発明の実施例を図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。第1図の印鑑登録証明システムは、印影読取部1と情報出力部2と情報入力部3と、ファクシミリ制御部4と、端末制御部5と、処理部6と、印影および住民情報を記録したファイル部7と印鑑登録カード発行部8とから構成される。第2図は第1図の印影読取部1の切換機構を示す図、第3図は第1図の情報出力部2の切換機構を示す図である。印影読取部1は原稿静止形ファクシミリ送信機により、情報出力部2はファクシミリ受信機により構成される。

第1図のシステムにおいて、印鑑登録を行う場合、住民は印鑑登録申請書に必要な事項を記入し窓口に提示する。この印鑑登録申請書にもとづき情報入力部3の鍵盤より検索情報を入力する。この

入力された情報は端末制御部5を経由し処理部6に送られる。処理部6の処理プログラムはファイル部7の住民記録データベースを検索し、該当する住民情報があればその情報を端末制御部5を経由して情報出力部2に印鑑登録原票様式(氏名、住所、生年月日、性別、登録年月日、登録番号、印影登録押印部を含んだ形)で出力する。

この印鑑登録原票に印影を押印し、印影読取部1に入力する。保有する印鑑登録原票(各自治体毎に既に存在する個有のもの)を新たに本システムに入力する場合には、住民記録データベースとの照合を行い、該当することを確認の上、自治体が既に保有する印鑑登録原票を直接印影読取部1に入力するだけで良い。

入力された印影はファクシミリ制御部4にて印影の冗長情報をMH符号化方式(本来のデータとして必要な部分と不要な部分とを分別し、不要な部分のデータを縮小する手段)により圧縮し、情報入力部3の鍵盤より印影に対応する登録番号を付加した形で端末制御部5に供給<sup>供給</sup>。端末制御部5

は圧縮された印影と登録番号とを回線を通し処理部6にオンラインで転送する。処理部6の処理プログラムは送られてきた印影と登録番号とを関連づけし、ファイル部7へイメージデータベースとして格納し、同時に印鑑登録カード発行部8から~~印鑑登録カード発行部8から~~印鑑登録カードを発行する。

印鑑登録証明書の発行の場合は、情報入力部3の鍵盤または印鑑登録カードにより登録番号を入力し、端末制御部5を介し処理部6へ回線を通しオンラインで送る。処理部6の処理プログラムは登録番号にもとづきファイル部7のイメージデータベースおよび住民記録データベースより必要情報を検索し編集加工し端末制御部5に返送する。

端末制御部5は送られて来た印影および住民情報をファクシミリ制御部4に供給する。ファクシミリ制御部4は印影データをMH符号化方式により伸長(送信する時に圧縮したデータをもとに戻す作用)させ、情報出力部2に印鑑登録証明書として印影、住所、氏名、生年月日、性別、認証文

等を含めた形で出力し住民に交付する。

次に同一装置を多目的使用するファクシミリ対ファクシミリ通信の場合について説明する。

ファクシミリ送信に切替える場合は、第2図のように印影読取部1の切替スイッチ11をファクス側端子112にセットし、送信部に用紙をセットすることにより送信可能となる。一方ファクシミリ受信に切替える場合は、第3図のように情報出力部2のファクシミリ受信機を利用するが、この装置は常に受信可の状態にある。端末装置として出力されるものと、ファクシミリ装置として受信されるものが重なった場合はファクシミリ制御部4がこれらの情報を自動的に制御し切替スイッチ21を端末側端子211またはファクス側端子212にセットし受信を開始する。

このように同一装置でコンピュータの端末およびファクシミリ装置本来の使用と多目的使用を可能とすることができる。

#### (発明の効果)

本発明は入出力装置としてファクシミリ装置を

用いることにより新規に本システムを導入する場合、既に保有する印鑑登録原票の利用を可能とし原票の再作成を不要とし経費、労力の節減できるという効果が大きい。

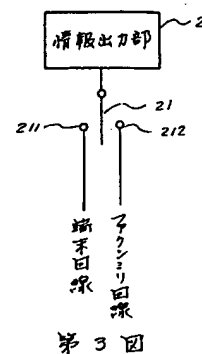
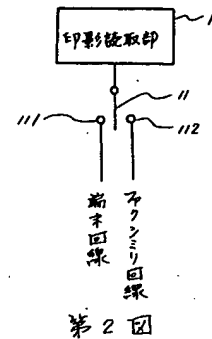
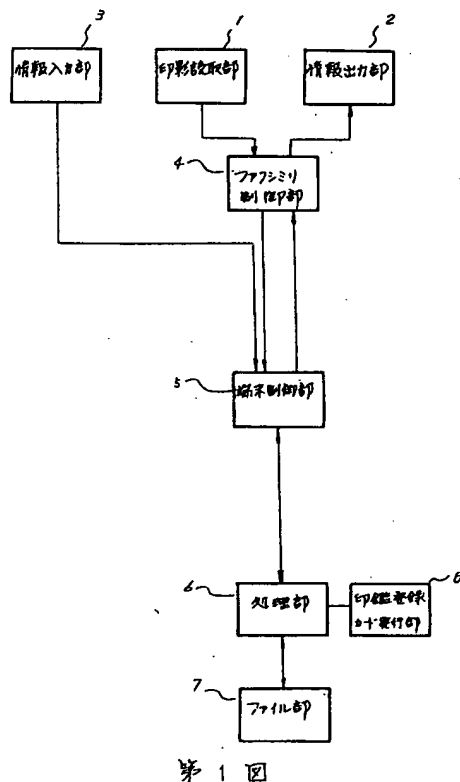
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図、第2図は第1図に示した印影読取部切換機構を示す図、第3図は第1図に示した情報出力部の切換機構を示す図である。

1……印影読取部、2……情報出力部、3……情報入力部、4……ファクシミリ制御部、5……端末制御部、6……処理部、7……ファイル部、8……印鑑登録カード発行部、11……切替スイッチ、111……端末側端子、112……ファクス側端子、21……切替スイッチ、211……端末側端子、212……ファクス側端子。

代理人 弁理士 内 原 晋

Best Available Copy



**This Page Blank (uspto)**